

《第 91 回例会》ポーランド名画ビデオ鑑賞会 2019-2 『カティンの森』

札幌エルプラザ 4F 大研修室、2019 年 7 月 3 日（水）



[報告]『カティンの森』鑑賞会には、約 35 名(非会員約 20 名)が参加されました。上映に先立ち会員の三浦洋・北海道情報大学教授(右下写真左)から 10 分ほど作品解説をしていただきました。

三浦さんは、この作品が最初から最後までシリアスで息抜きのない悲劇を描いており、アンジェイ・ワイダ監督が 80 歳にしてようやく犠牲者となった父への追悼の思いを込めて完成させた歴史的な作品であり、最後の虐殺シーンなど、どんなに悲しい場面でも感情的・抒情的には描かない、ワイダらしい表現が貫かれていることなど、本作品の背景や特徴をわかりやすく解説されました。

上映終了後、お茶をいただきながら懇談の場を持ちました。息が詰まるような作品を見た直後で参加者もしばらく声が出ない様子でしたが、アンケートには率直な感想をたくさん書いていただきましたのでご紹介します。(司会 園部真幸=右上写真=)

[アンケート] 回収数 10(自由記述)

- ・ 1)もっとドラマチックにも作れるのに抑えた表現。それが強い説得力を持って伝わってきました。強い悲しみと怒りが。
- 2)ハンナ・アーレントの言葉をずっと考えていました。映画を見ながら。代表作『人間の条件』で彼女は labor(労働)<work(仕事・制作)<action(行動)でなければならないと書きます。labor は生活のためだけに働くこと、マルクス主義やナチス(国家社会主義ドイツ労働者党)の問題は labor を一番上に置いたこと。そこには必ず指導者層ができます。それはやがて独裁者を生みます(*)。考えない人間を多数作り出します。その最たるものがアイヒマンのような人間。work とは独創性、永続性のある仕事、それを人々のために生かしていく(action)。そこにしか『人間の条件』はないのでしょうか。(※『動物農場』(ジョージ・オーウェル)でも「すべての動物は平等である。しかし、ある動物はもっと平等である」と書かれています。)映画の中に「思うだけでは何の意味もない」という言葉がありました。それが action なのでしょう。(池田光良)
- ・ 押しつぶされた様に感じました。圧巻です。ポーランドの奥深い歴史の一コマです。
- ・ 事件のことは知っていた。ソ連の支配下にあった時代に Poland 人が沈黙を続けたこともわかる。ソ連に反抗した人が殺されるだけなら理解できるけど、そうでもなかったのかわからない。三浦先生のお話は面白く興味深かった。時間があればもっと聞きた

かった。

- ・ こんな映画ははじめてみました。戦争はおろかなことと知っていても、人間はなんとおろかなことをしてしまうのでしょうか。いのちの大切さ、おろかな人間について考えずにいられません。日本の子どもにみせたい。戦争はいけないと口だけで言うより映画で伝わるものがある、と思いました。
- ・ 戦争の悲惨さを改めて考えさせられました。今現在でも何処でも戦争がありますが、絶対に戦争はしてはならないと痛感します。素晴らしい映画でした。
- ・ 国家というものは恐ろしいとつくづく思います。何でも出来るし極めて残酷なことも平気で出来る人間を作ることも出来る。最後のブルドーザーが土をかける場面は沖縄の土砂投入の場面と重なりました。何度見ても重くやり切れない気持ちになります。いい映画ですね。(70代女性)
- ・ 歴史の証人として「カティンの森」という映画を監督したアンジェイ・ワイダは凄いと思った。ちょっと気持ちが悪くなったが… 母のすぐ下の弟も戦死した。沖縄のガマで遺骨は残されていない。1 個の石だけだったそうだ。
- ・ 70 年代に出会ったポーランド人は皆真実を知っていた。ソ連が初めて認めたのはフルンチョフだったか。体制が嘘をつくの肯じえない。人々の怒りと悲しみ。ワイダの慟哭…!! 予想よりも難解な作品。
- ・ とてもよかった。以前見のがして残念に思っていた。戦争中に起こったことは知られていない事実がたくさんあるのだ、とあらためて思いました。ありすぎて若い時には多分受けとめることができなかつただろうと思う。導入部分で橋の上で、クラクフからの人々とクラクフに向かう人々が鉢合わせになるところ、はじめからショックでした。又「ブリキの太鼓」という映画を思い出したり、「消えた子供たち」(?)という映画を思い出したり、恐ろしい。
- ・ 「カティンの森」を観るのは 2 度目ですが、やはり映画は同じ作品を 2 度 3 度と観て、ようやく理解できます。これからも良質な作品の上映を宜しくお願い致します。それにしても当時のポーランドの国状には涙を禁じえない。現状の日本の国防は？国防は日本国憲法に反するの？

